

翔鸞幼稚園だより



京都市立翔鸞幼稚園 園長 村山 得太郎 令和4年5月1日

創立記念日（131周年）



明治24年5月1日に翔鸞地域の町衆が「幼児たちに質の高い教育を受けさせたい」というあふれる熱意を結集させ、私立翔鸞幼稚園が創設されました。その熱意が京都市を動かし7年後の明治31年に京都市立翔鸞幼稚園となりました。私たち教職員（今まで翔鸞幼稚園で勤務された皆様も含めて）は、先人の思いを受け継ぎ、子どもたちに質の高い幼児教育ができるよう研修を積み重ねています。そして、保護者や地域の方から、いつも大切に見守っていただいている地域の幼稚園です。翔鸞小学校とも幼小での行事や合同研修などに取り組んで連携しています。昨年は創立130周年となり、記念式典を行いました。コロナ禍で多くの皆様にお越しいただくことができませんでした。140周年、150周年の時には、盛大にお祝いのできることを願っています。



きることを願っています。130周年の様々な行事を行うことができたのも歴代の双葉会会員の皆様方のご協力のおかげです。紙面を借りましてお礼申し上げます。ありがとうございました。

5月の予定

- 2日（月）こどもの日の集い
- 9日（月）そら組 参観・竹馬製作・懇談
- 10日（火）にじ組 参観・一本歯下駄製作
懇談
- 11日（水）ひかり組 参観・竹ぽっくり製作
懇談
- 13日（金）耳鼻科検診
- 16日（月）ノーテレビ・ノーゲームデー
月間絵本
- 17日（火）体重測定
- 18日（水）避難訓練（引き渡し訓練）
- 24日（火）諸費用最終納入日
- 25日（水）親子遠足（植物園）
家庭保育協力日
- 30日（月）誕生日会 ゴミゼロ隊（そら組）

6月の主な行事

- 6日（月）子育て語り合いサロン
- 10日（金）給食試食会
- 22日（水）花の苗屋さん
- 27日（月）プール開き

※新型コロナウイルスの感染状況により、行事予定の変更を余儀なくされることがあります。

◆新学年が始まって1ヶ月、子どもたちは毎日、楽しそうに遊んでいます。京都市立幼稚園では「未来につながる力を育む」ことを目標として次の5つのポイントで豊かな遊びをとらえ、小学校につながる資質や能力を育んでいます。

- ・戸外で体を十分動かして遊ぶ
- ・自然や身近な環境に関わって遊ぶ
- ・様々な素材、音、色、形等に触れ、心を動かして遊ぶ
- ・友達と一緒に遊ぶ
- ・人と言葉を交わして遊ぶ

例えば、右の写真は、4月のにじ組の遊びの様子です。花びらを使って、水入りペットボトルの中に入れてシェイクしたり、ご馳走のトッピングに使ったり、すり鉢で花びらを細かくすりつぶして色水をつくったりしていました。イメージはどんどんふくらんで、完成したジュースやご馳走は、お店屋さんや並べたり、冷蔵庫に見立てたボックスの中に入れたりしていました。身近な素材を使って、形を変えたりしながら心を動かして遊びこむ子どもたち。そこにお友達が加わって、一緒に考えたり、言葉を交わしたりしながら、遊びは続いていきます。



御挨拶

新緑が目にあざやかな季節となりました。皆様におかれましては、益々ご健勝の事とお喜び申し上げます。

新年度が始まり、早いもので1ヶ月がたちました。新しく翔鷹幼稚園にお迎えした子どもたちも、少しずつ園生活に慣れてきた頃ではないでしょうか。子供たちが元気いっぱい園庭を駆け回り、日々成長していく姿に、私自身も毎日元気をもらっています。依然として新型コロナウイルスの先の見通せない状況が続いており、昨年同様PTA活動についても変更を余儀なくされる部分も多いと思われます。色々と制限の多い中でも、より良い園生活のために試行錯誤して下さる先生方や会員の皆さま、地域の皆さまには、感謝の気持ちでいっぱいです。この場を借りて御礼申し上げます。今年度も、安心・安全に配慮しながらも、楽しく充実したPTA活動に取り組んでいきたいと思いますので、どうぞご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



京都市立翔鷹幼稚園

令和4年度PTA双葉会会長 小泉 裕子

5月1日より、新たに校務支援員（みんなの先生）として「柚木 香穂（ゆのき かほ）」先生が着任されました。

子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で
「京都はぐくみ憲章」を实践しましょう！

